

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公表番号】特表2004-507221(P2004-507221A)

【公表日】平成16年3月11日(2004.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2004-010

【出願番号】特願2001-577434(P2001-577434)

【国際特許分類】

C 1 2 N 1/20 (2006.01)

A 0 1 N 63/02 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 1/20 A

C 1 2 N 1/20 E

A 0 1 N 63/02 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月4日(2008.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 単離された *Streptomyces galbus* 株であって、
登録番号 3 0 2 3 2 として NRRL に寄託された *Streptomyces galbus* 株を同定する特徴をすべて有する *Streptomyces galbus* 株；該登録番号 3 0 2 3 2 として NRRL に寄託された株の改変体であって、該 NRRL 登録番号 3 0 2 3 2 の株を同定する特徴をすべて有する改変体；ならびに該登録番号 3 0 2 3 2 として NRRL に寄託された株の変異体であって、該 NRRL 登録番号 3 0 2 3 2 の株を同定する特徴をすべて有する変異体；
からなる群より選択され、
該 NRRL 登録番号 3 0 2 3 2 の株を同定する特徴のうちの 1 つは、殺虫活性である、
株。

【請求項 2】 NRRL 登録番号 3 0 2 3 2 として寄託された *Streptomyces galbus* 株を同定する特徴をすべて有する単離された *Streptomyces galbus* 株であって、
該 NRRL 登録番号 3 0 2 3 2 の株を同定する特徴のうちの 1 つは、殺虫活性である、
株。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 に記載の株と、少なくとも 1 種の化学的殺虫薬または生物的殺虫薬とを含む、組成物。

【請求項 4】 植物、根もしくは果実での昆虫のインフェステーションを防止するため、または植物、根もしくは果実を処理するための方法であって、該方法は、
該植物、根もしくは果実に、有効量の請求項 1 または 2 に記載の単離された株を適用する工程
を包含する、方法。

【請求項 5】 請求項 4 に記載の方法であって、前記昆虫は、鱗翅目、鞘翅類および双翅目からなる群より選択される、方法。

【請求項 6】 請求項 4 に記載の方法であって、前記昆虫は、鱗翅目である、方法。

【請求項 7】 請求項 6 に記載の方法であって、前記鱗翅目のインフェステーションは、*Spodoptera exigua*、*Anticarsia gemmatalis*、*Plutella* spp.、*Helicoverpa zea*、*Heliothis virescens*、および *Trichoplusia ni* からなる群より選択される少なくとも 1 種の昆虫により引き起こされる、方法。

【請求項 8】 植物、根もしくは果実での昆虫のインフェステーションを防止するため、または植物、根もしくは果実を処理するための方法であって、該方法は、
該植物、根もしくは果実に、有効量の請求項 3 に記載の組成物を適用する工程を包含する、方法。

【請求項 9】 請求項 8 に記載の方法であって、前記昆虫は、鱗翅目、鞘翅類および双翅目からなる群より選択される、方法。

【請求項 10】 請求項 9 に記載の方法であって、前記昆虫は、鱗翅目である、方法。

【請求項 11】 請求項 10 に記載の方法であって、前記鱗翅目のインフェステーションは、*Spodoptera exigua*、*Anticarsia gemmatalis*、*Plutella* spp.、*Helicoverpa zea*、*Heliothis virescens*、および *Trichoplusia ni* からなる群より選択される少なくとも 1 種の昆虫により引き起こされる、方法。

【請求項 12】 請求項 1 または請求項 2 に記載の株を含む、培養物。

【請求項 13】 植物、根もしくは果実での昆虫のインフェステーションを防止するため、または植物、根もしくは果実を処理するための方法であって、該方法は、
該植物、根もしくは果実に、有効量の請求項 12 に記載の培養物を適用する工程を包含する、方法。

【請求項 14】 請求項 13 に記載の方法であって、前記昆虫は、鱗翅目、鞘翅類および双翅目からなる群より選択される、方法。

【請求項 15】 請求項 14 に記載の方法であって、前記昆虫は、鱗翅目である、方法。

【請求項 16】 請求項 15 に記載の方法であって、前記鱗翅目のインフェステーションは、*Spodoptera exigua*、*Anticarsia gemmatalis*、*Plutella* spp.、*Helicoverpa zea*、*Heliothis virescens*、および *Trichoplusia ni* からなる群より選択される少なくとも 1 種の昆虫により引き起こされる、方法。